

新潟市立両川中学校だより



両 中 四 季

令和7年6月5日 第3号

運動会を終えて、次の目標へ（6月4日全校朝会より）抜粋

先週の運動会、大変お疲れさまでした。とても素晴らしい運動会でした。観ている私たちや地域の人たちに、笑顔と感動を与えてくれました。

3年生の皆さん。両川中の良さ・素晴らしさを最大限にアピールしてくれてありがとう。間違いなく両川中の伝統の一ページに残る運動会でした。2年生の皆さん。中堅学年として、その責任を果たしてくれてありがとう。君たちの献身的で真剣な取組が、運動会を大成功に導いてくれました。明るく元気な1年生の皆さん。運動会を大いに盛り上げてくれてありがとう。

学年という横のつながり、軍団という縦のつながり、さらに本番では地域という斜めのつながりが加わって、みなさんはよりたくましく、大きく成長したと感じています。この運動会で身につけた力を、これからの学校生活や自分の目標に生かしていきましょう。

さて、6月は中体連の大会が行われますね。皆さんが中学校入学以来、部活動の形が様々変わってきていますが、3年生にとっては負ければ引退となる大会であることは間違いありません。また、音楽部のみなさんも、激励会や10日の発表をもって引退となると聞いています。ぜひ、それぞれ悔いが残らない大会や発表にしてほしいと思います。

私もみなさんと同じ頃、学校生活を通じて、部活動を通して多くのことを学びました。私が知り合った先生や先輩から教えていただいた教を紹介しします。それは「**よい選手である前に、立派な生徒であれ**」「**立派な生徒である前に、誠実な人間であれ**」という教えです。

自分が苦境に立たされたとき、心が折れそうになったとき、怠けたり、いい加減な気持ちになったりしたとき、何度も読み返してきました。この教えには続きがあります。

- ① 生活の基本を疎(おろそ)かにして、技術が身につくはずがない
- ② 他人の話をよく聞く耳、物事を注意深く見る目を持つ
- ③ 「できない」と「やろうとしない」は全く違う
- ④ 「もうだめだ」と思ったときのひと踏ん張りが勝負を左右する
- ⑤ 初心忘れるべからず、素直さ、笑顔、これまた忘れるべからず …(まだまだ続きがあります)

最後に。これらの教えは、なにも部活動に限ったことではありません。地域でのスポーツ活動はもちろん、日々の学校生活や学習などにも通じる言葉だと思っています。

では、これからのみなさんのさらなる活躍と成長を期待しています。

運動会の様子&リーダー感想

運動会実行委員長 大橋 優薫さん

実行委員長として、全体を動かすことにとっても不安を感じていましたが、実行委員のメンバーが一生懸命動いてくれたり、アイデアを出してくれたりして、運動会の準備から当日の運営まで、とてもスムーズに行うことができました。天気にも恵まれ、大成功の運動会でとても嬉しかったです。私自身も実行委員長という立場を経験して、仲間の大切さを学ぶことができました。

赤軍応援団長 村山 惺南 さん

最高に楽しかった運動会で、僕はコミュニケーションの大切さを学びました。応援団は、他学年の人もいるため、積極的に話しかけることを意識しました。応援団の団員だけではなく、全校生徒とコミュニケーションすることで、軍の団結が強くなりました。応援賞を取ることができたのは、赤軍一人一人の団結のおかげです。ありがとうございました。この経験を生かして、誰にでも積極的に話しかけていきたいと思っています。

黒軍応援団長 青木 琴芭 さん

応援団長を経験して、とても多くのことを学ぶことができました。最初は「自分に務まるかな？」という不安で一杯でしたが、練習を重ねるごとに声も大きくなり、自信がついてきました。みんなの顔が私の一言一言で変わっていくのを見た時、応援のもつ力を実感しました。負けてしまったけど、団長として、みんなと心をつなぐ一つに、全力で応援できてとてもよかったです。最高の思い出になりました。黒軍のみなさん、ありがとうございました。

